

PORTGUARD

PORTGUARD PG system

ポルトガード PG システム （高耐候型水性シリコン樹脂クリヤー）

製品資料

CENTRAL CONCRETE

株式会社セントラルコンクリート

■ 製品概要

- ・ 製品名 ポルトガード クリヤー
- ・ 種類 高耐候水性シリコン樹脂クリヤー
- ・ 主成分 シリコン樹脂エマルジョン

■ 目的

- ・ コンクリート打放しの高品質化
- ・ コンクリート構造物の表面保護 耐久性の向上、予防保全（劣化因子の侵入抑制・長寿命化）

■ 高耐候性機能

- ・ 高耐候性シリコン樹脂により、長期にわたるコンクリート素地感(意匠性)の維持とコンクリート保護が可能。何年たっても清潔感のあるコンクリートを維持します。
- ・ ポルトガードクリヤーは、水性シリコン樹脂塗料に『水性反応硬化技術』を応用した高耐候性シリコン樹脂塗料です。塗布後の水分の蒸発により、反応硬化が始まり、水性シリコン樹脂が相互に結合され、樹脂の粒子間の反応硬化によって、三次元構造の強力な塗膜が形成されます。

■ 透湿性

- ・ 塗膜は撥水性及び透湿性を持ち、コンクリート内部の水分(水蒸気)を放出し、コンクリートの呼吸を妨げません。

■ 意匠性

- ・ ポルトガードクリヤーは、専用塗料PGカラーとの組みあわせにより、打放しコンクリートの持つ微妙な仕上りの追及を最大限可能にします。

■ 2種類の塗装仕様

- ・ ポルトガードクリヤーは外部用は浸透性吸水防止剤とポルトガード2回塗の3工程です。
シラン系吸水防止材は水性タイプと溶剤タイプがあります。コンクリート面に深く浸透し、強力で厚い吸水防止層を形成し、吸水防止性能を持続します。
水性・溶剤ともに吸水防止層と高耐候性のシリコン樹脂クリヤーにより、水分の侵入をガードし、中性化・腐食老化・エフロレッセンスを防止します。
- ・ 環境に配慮したオール水性タイプは臭気も少なく、どのような現場にも対応できます。
- ・ 内部では吸水防止剤の工程を、省いてポルトガードクリヤー2回塗の2工程でご使用いただけます。

■ 標準塗装仕様

オール水性タイプ クリヤー

工程\項目	使用材料	希釈材 (希釈率)	標準所要量 (kg/m ²)	塗装方法	塗回数	標準塗装間隔 (23℃)
1.素地調整	被塗装面をチェックし、表面の脆弱部分及び粉化物をウエス、サンドペーパー、高圧水洗等で除去する。					
2.下塗	ポルトガード 水性リパルサー	既調合	0.10~0.15	刷毛 ローラー	1	16時間以上~7日以内
3.中塗	ポルトガード クリヤー	清水 (0~5%)	0.08~0.12		1	2時間以上~7日以内
4.上塗	ポルトガード クリヤー	清水 (0~5%)	0.06~0.11		1	乾燥時間 1日以上

オール水性タイプ カラークリヤー

工程\項目	使用材料	希釈材 (希釈率)	標準所要量 (kg/m ²)	塗装方法	塗回数	標準塗装間隔 (23℃)
1.素地調整	被塗装面をチェックし、表面の脆弱部分及び粉化物をウエス、サンドペーパー、高圧水洗等で除去する。					
2.下塗	ポルトガード 水性リパルサー	既調合	0.10~0.15	刷毛 ローラー	1	16時間以上~7日以内
3.中塗	ポルトガード カラークリヤー1.5%	清水 (0~5%)	0.08~0.12		1	2時間以上~7日以内
4.上塗	ポルトガード カラークリヤー1.5%	清水 (0~5%)	0.06~0.11		1	乾燥時間 1日以上

下塗り溶剤タイプ クリヤー

工程\項目	使用材料	希釈材 (希釈率)	標準所要量 (kg/m ²)	塗装方法	塗回数	標準塗装間隔 (23℃)
1.素地調整	被塗装面をチェックし、表面の脆弱部分及び粉化物をウエス、サンドペーパー、高圧水洗等で除去する。					
2.下塗	ポルトガード リパルサー	既調合	0.10~0.15	刷毛 ローラー	1	16時間以上~7日以内
3.中塗	ポルトガード クリヤー	清水 (0~5%)	0.08~0.12		1	2時間以上~7日以内
4.上塗	ポルトガード クリヤー	清水 (0~5%)	0.06~0.11		1	乾燥時間 1日以上

下塗り溶剤タイプ カラークリヤー

工程\項目	使用材料	希釈材 (希釈率)	標準所要量 (kg/m ²)	塗装方法	塗回数	標準塗装間隔 (23℃)
1.素地調整	被塗装面をチェックし、表面の脆弱部分及び粉化物をウエス、サンドペーパー、高圧水洗等で除去する。					
2.下塗	ポルトガード リパルサー	既調合	0.10~0.15	刷毛 ローラー	1	16時間以上~7日以内
3.中塗	ポルトガード カラークリヤー1.5%	清水 (0~5%)	0.08~0.12		1	2時間以上~7日以内
4.上塗	ポルトガード カラークリヤー1.5%	清水 (0~5%)	0.06~0.11		1	乾燥時間 1日以上

※ カラークリヤーの濃度は表のような配合で3%迄の対応とします。(中塗りを0%とすれば1.5%濃度となる)
さらに濃い色をご希望の場合は、ご相談下さい。

■ 標準塗装仕様

オール水性タイプ エイジング

工程\項目	使用材料	希釈材 (希釈率)	標準所要量 (kg/m ²)	塗装方法	塗回数	標準塗装間隔 (23℃)
1.素地調整	被塗装面をチェックし、表面の脆弱部分及び粉化物をウエス、サンドペーパー、 高圧水洗等で除去する。					
2.下塗	ポルトガード 水性リパルサー	既調合	0.10~0.15	刷毛 ローラー	1	16時間以上~7日以内
3.中塗	ポルトガード クリヤー	清水 (0~5%)	0.08~0.12		1	2時間以上~7日以内
4.色合せ	PGカラー	清水 (適量)	適量	エイジング	1~2	2時間以上~7日以内
5.上塗	ポルトガード クリヤー	清水 (0~5%)	0.06~0.11	刷毛 ローラー	1	乾燥時間 1日以上

下塗り溶剤タイプ エイジング

工程\項目	使用材料	希釈材 (希釈率)	標準所要量 (kg/m ²)	塗装方法	塗回数	標準塗装間隔 (23℃)
1.素地調整	被塗装面をチェックし、表面の脆弱部分及び粉化物をウエス、サンドペーパー、 高圧水洗等で除去する。					
2.下塗	ポルトガード リパルサー	既調合	0.10~0.15	刷毛 ローラー	1	16時間以上~7日以内
3.中塗	ポルトガード クリヤー	清水 (0~5%)	0.08~0.12		1	2時間以上~7日以内
4.色合せ	PGカラー	清水 (適量)	適量	エイジング	1~2	2時間以上~7日以内
5.上塗	ポルトガード クリヤー	清水 (0~5%)	0.06~0.11	刷毛 ローラー	1	乾燥時間 1日以上

エイジングプラス 塗潰し

工程\項目	使用材料	希釈材 (希釈率)	標準所要量 (kg/m ²)	塗装方法	塗回数	標準塗装間隔 (23℃)
1.素地調整	被塗装面をチェックし、表面の脆弱部分及び粉化物をウエス、サンドペーパー、 高圧水洗等で除去する。					
2.下塗	ポルトガード プライマー	既調合	0.10~0.15	刷毛 ローラー	1	16時間以上~7日以内
3.中塗	PGカラー ベース色	清水 (0~5%)	0.08~0.12		1	2時間以上~7日以内
4.エイジング	PGカラー エイジング色	清水 (適量)	適量	エイジング	2~3	2時間以上~7日以内
5.上塗	ポルトガード クリヤー	清水 (0~5%)	0.06~0.11	刷毛 ローラー	1	乾燥時間 1日以上

■ 適応下地

- ・ 打放しコンクリート面、モルタル面
- ・ 押出成形セメント板面・PC板面(シーラーは基材によって提案いたします)

■ 下地の条件

- ・ 表面含水率 10%以下
下地の養生期間は、夏季28日以上、冬季35日以上
- ・ 表面の脆弱部分、未硬化のセメント粉化物、エフロ等は研削、ハツリ、高圧洗浄等の方法で十分除去してください。尚、除去が不十分な場合、性能不良の原因となります。
- ・ クラック、巣穴等は、セメント系処理材で事前に補修を行ってください。
- ・ 補修材並びに下地調整材には、必ずセメント系の材料を使用してください。セメント系以外の材料を使用した場合、十分な性能が得られません。
(下地が、上記条件に適合しない場合は、事前に付着等の性能確認試験により異常のない事を確認した上で施工してください。)

■ 塗装上の注意

- ・ 本仕様の各材料は、分離している場合がありますので、使用前に十分攪拌をしてください。
- ・ 本仕様の各材料は、塗装時乳白色を呈しますが、乾燥すると透明になります。
- ・ 必ず、本仕様指定の材料を使用してください。特に下塗りには他の浸透性吸水防止剤は、絶対に使用しないでください。
- ・ 本仕様の各材料の所要量並びに塗回数及び塗装間隔は、必ず厳守してください。
特に、不足すると降雨等による水染みの原因になります。
- ・ 本仕様の各材料は、乾燥すると透明になり塗装面と未塗装面の区別がつきにくくなりますので、塗り残しには、充分注意してください。
- ・ 各工程での乾燥は十分行ってください。乾燥が不十分な場合、仕上がり感が悪くなったり、十分な性能が得られない場合があります。
- ・ 本工法は、クリヤー仕上の場合は、コンクリート本来のばらつきや打放し面の良否は、そのまま現れます。本工法は、躯体上にクリヤー塗膜を形成するため、塗装面のつやや色調と異なる場合があります。
- ・ カラークリヤー仕上の色調は事前にサンプルで確認の上施工を行ってください。
本工法ではカラークリヤー仕上の濃度上限は3%としています。それよりも濃い色をご希望の場合は他の方法をご提案できますのでご相談下さい。
- ・ 塗装器具は、使用後速やかに水洗いを充分行ってください。
- ・ 気温5℃以下、湿度85%以上での施工は避けて下さい。降雨時、または降雨が予想される時の施工は避けてください。塗膜が完全に乾燥しないうちに雨(水)にあたりますと、流れたり白く濁ったりする可能性があります。
- ・ 室内の塗装では、換気に十分注意してください。